

第4回伊那市誌編さん委員会議事録

開催日時	令和3年7月30日(金) 14時00分～16時15分
場所	伊那市役所 502会議室
出席者	編さん委員：12名(欠席：1名) 事務局：教育長、教育次長、市誌編さん室長、担当
会議目的	統括会にてまとめた市誌で扱う分野やテーマについて協議すること、また各分野の担当者(窓口)を決定するため。

【内容要旨(決定事項・検討事項等)】

- ① 分野やテーマに関する意見は、該当する部会で検討を行う
- ② 各分野の担当者(窓口)の決定
- ③ 次回の委員会までに各部会を開催し、行動計画や予算計画を組み立てる
- ④ その他、委員会で挙げた提案や意見は検討を行う
- ⑤ 次回の委員会は10月1日(金)に開催する

【会議内容】(討議、意見交換等による決定事項・検討事項の詳細)

① 分野やテーマに関する意見は、該当する部会で検討を行う

下記5点の質問や意見等は、担当する部会で扱い検討する。複数の部会が関わる場合も考えられるため、連絡を取り合うもしくは合同部会等によって検討を進め共有する。

(1) 概説編(2)では、自然分野をどのように扱いまとめるのか(担当：概説、自然編)

自然を含めた通史となると、原始以前の部分も入るだろう。多くの史誌は、地形地質など自然環境から始まり原始時代の人々の営みに繋いでいるが、その辺りのまとめ方はどのようにするのか。

(2) 社会編にある「不登校児童」は、教育編でなくてよいのか(担当：教育、社会編)

社会編(15)にある「不登校児童生徒の実態と支援」については、教育編(8)にある「学校教育の変遷と生徒の活動」の位置づけではないのか。

(3) 地区誌を概説編で扱うのはなぜか。系統図を掲載するのか(担当：概説、社会、文化編)

概説編で旧町村別の地区誌を扱うことになっている。これはコミュニティの変化として社会編で扱うことが適当だと思うが、系統図のようなものも掲載するのか。

(4) 建築や美術工芸については、どの分野で扱うのか(担当：文化編 他)

文化編(16)は「伊那市の貴重な文化財」ということで、幅広い意味合いで文化財を扱うのだと感じたが、建築や美術工芸はどの分野で扱うのか。

(5) 民俗編では、衣食住、年中行事、団地について扱えると良い（担当：民俗編）

お正月などの行事に伴う食事の文化や瓦葺き屋根の家の減少などを踏まえて、衣食住を扱った方が良いのでは。年中行事や新しい団地で行われている祭事や町会についても集められると良い。

② 各分野の担当者（窓口）の決定 ※各分野の担当者は、下記表の通り決定した

分野	担当者
概説編（1）	1名
概説編（2）	1名
自然編	2名
政治行政編	3名
教育編	2名
産業経済編	2名
社会編	4名
文化編	3名
民俗編	3名

③ 次回の委員会までに各部会を開催し、行動計画や予算計画を組み立てる

予算確保のために、次回の委員会までに各部会で資料収集等の行動計画やそれに伴う予算の検討を行う。部会の開催については、事務局より各委員に連絡を取り日程調整ができ次第、行う。

④ その他、委員会で挙げた提案や意見は検討を行う

その他、様々な意見等が挙げた。下記 14 点については、統括会や委員会もしくは事務局にて協議を行い、共有する必要がある。

- (1) 先行発行するという概説編（1）は、分野を横断しながらテーマに関わるとボリュームも増え分かりやすい内容にもなり、さらに早めにとできると思う。
- (2) 概説編の先行発行、刊行順や刊行年度は、分野の担当者と執筆者で項目の検討を行い、編と編の関わりについても詰めたところで考えたらよいのではないかと。
- (3) 各地区から委員が選出されている。各地区の歴史や文化を中心に、伊那市の特徴的な点や他の地区と違う点を書き、専門的なことは各分野別でまとめると良いのでは。
- (4) 先行発行の概説編と後から発行する分野別の分冊との整合性を図るために、各分野の内容を決めたうえで、発行時期や概説のまとめ方を考えた方が良いのでは。

- (5) 全体を通してこれが作りたいもの、作ろうとしているものなのかという整合性を図り、分冊にするプラスとマイナスの部分を総合的に判断する必要があるのでは。
- (6) 最後に総目録や索引、インデックスのようなものがあると、全部を通して見やすくなるのでは。
- (7) 市誌編さんの立ち位置など、市誌編さんに対する市の考えを明確にし、工程表を整理してほしい。合併 20 年という節目に『伊那市誌』の他、何か事業を行うのか。
- (8) 執筆の段階になると学芸員の方々にもお願いすることになるが、都合の良い時には会議にも出席してほしい。
- (9) これまでの統括会は、委員長と副委員長、事務局で行っていたが、今後は各分野の窓口が一緒に参加できると実質的に動いていけるのではないか。
- (10) 予算の申請に伴い、単年度決算なのか、多少の見通しを持っているのかということを確認したい。
- (11) 公文書管理条例に伴い、伊那市でもきちんと公文書の管理体制をとってほしい。編さん作業による今後の要求がスムーズにいくように、相応の対応をお願いしたい。
- (12) 女性の委員について、事務局は鋭意検討することとし、検討内容については委員会にて提示することとする。

⑤ 次回の委員会は 10 月 1 日（金）に開催する

次回の委員会は、10 月 1 日（金）14 時から開催することとなった。開催場所については決定していないため、事務局にて開催場所の確保を行う。なお、委員会開催の詳細は、書面を送付しお知らせする。

※資料編については、次回の委員会で扱うこととする。

【次回編さん委員会日程】

日時：令和 3 年 10 月 1 日（金）14 時～

場所：未定